

令和元年度第2回東員町総合教育会議 議事録

1 開 会 令和2年1月28日 午前10時00分

2 閉 会 令和2年1月28日 午前11時30分

3 場 所 東員町総合文化センター 第一研修室

4 出席者	東員町長	水谷 俊郎
	副町長	小川 裕之
	教育長	岡野 譲治
	教育長職務代理者	向山 節雄
	教育委員	三貫納 幸
	教育委員	木村 陽一
	教育委員	松宮 あけみ
	三重大大学教授	富岡 義人
	三重大学助教	田端 千夏子
	政策課長	岡本 幸宏
	政策課長補佐	小川 信彦
	教育委員会事務局長	岩田 浩一
	教育総務課長	伊藤 正樹
	社会教育課長	石川 清
	学校教育課長	日置 貴久
	教育総務課長補佐	南部 博輝
	教育総務課主事	虫明 大作

5 会議事項 別紙のとおり

(別紙) 会議事項

1. 開会の辞

(教育委員会事務局長)

ただ今から令和元年度第2回東員町総合教育会議を開会いたします。

2. 町長挨拶

町長より挨拶

一中移転について、地権者との交渉を進めているが、東員町の教育と子供たちのことを考えるとどうしてもこの事業を進めていかなければならない。町職員全体で進めており、多くの住民からの後押しもある。今後もしっかりお願いいたします。

3. 事項

(1) 東員第一中学校移転事業について

(富岡教授)

共同研究2年目の現時点の成果を説明したい。

※基本構想資料をもとに説明

- ・国も施設の統合などを推進し、コンパクトな形を提唱している。
- ・東員町は子育ての町。16年一貫教育の実現。町の教育が町の核となる。
- ・みんなの意思を統一するために、建物の形を具体的に検討している。
- ・学校教育施設＋社会教育施設を統合し、より合理的な施設群とする。

(教育総務課長)

ここまでで何かご意見・ご質問等はありませんか。

(委員)

これまでにない校舎のイメージで素晴らしいと思う。傾斜した屋根が特徴的だが、素材などは考えているのか。

(富岡教授)

検討中だが、断熱材付きの鋼板屋根を想定している。軽量かつ静音。耐久性もあり、10年補償もある。コンクリート屋根よりも補修がしやすい。20mほど目地無しで施工できるが、費用が若干高い。もちろん費用も考慮しなければならないが、安い部材だけを選ぶわけではない。

(委員)

体育館は木造でとの話であったが、木造であることのメリットは何か。

(富岡教授)

鉄骨屋根だと、地震の際に崩落するリスクがある。木造は長いスパンを伸ばせる。軽量かつ丈夫。断熱効果もあり、冬も寒くなりにくい。木の弱点は火事だが、体育館は炎があがっても延焼しにくいので、校舎本体に使うよりは体育館で使い、補助金の申請も検討したほうがよい。基礎は鉄筋 CO だが、屋根は木造という構成をイメージしている。

(委員)

感想になるが、一次情報に直接触れることのできる構想（施設群を作ること）はとてもいいと思った。

(富岡教授)

間接性よりは直接のほうがよい。本よりも動画、それよりも現場、といった環境を作っていければいい。未来を担う人材育成のためにはとても重要になる。建設は公共投資としては効率がよく、多くの人が利用できるような形で提案したい。未来に投資するという考え方で進めていきたい。

(委員)

建物に傾斜をつけているので全体が低くなると思うが、エレベーターは？

(富岡教授)

今はエレベーターの設置が必須になっている。2 箇所を想定。場所は今後の詳細設計の中で詰めていく。

(富岡教授)

都会で設計するよりは何倍も潤沢な資源がある。先日も東京の中野区に視察に行ったが、それよりもこの場所は恵まれている。

(委員)

業者が敷地に出入りしたりする場合はどこから入る？

(富岡教授)

県道側に管理用の入り口を設けている。

(富岡教授)

今は LGBT などの問題もあって、現在の設計は個室主義にしている。個室のトイレがたくさんあるような設計になっており、掃除は大変だがスペース的には少なくて済む。故障にも対応しやすい。他の自治体で出た意見で、北欧などでは取り入れられているが、みんながこれで慣れるかどうかまではわからない。

(教育委員会事務局長)

今は委員さんからエレベーターや入り口などのご質問をいただいたが、まだ現時点では視察などを重ねて検討している最中である。現在は基本構想や方針などが重要なので、校舎の構造などももちろん重要だが、まだ決定事項では無いのでご理解いただきたい。

(岡野教育長)

富岡先生の話聞くたびに勇気がでる。最終目標は子供たちが自己実現することと、社会の発展に貢献できる力をつけること。学習館という考え方はとても良くて、自発的な意欲を育てるのはとても良い。意欲を高めるには基本的信頼感や自己肯定感を高めることだし、それぞれの発達段階の課題を上手にクリアしている子が意欲を高めている。自分で勉強する力は意欲＋読解力につながると考えている。シビックセンターに学校を作ること町としての姿勢も示していきたいし、現在の町の課題なども含めて子供たちにも見てほしいと思っている。

(富岡教授)

子供たちにはオープンな場所を与えてあげるといい。社会人として扱ってあげれば、子供たちはしっかりとする。プライベートな場所での教育はエリートが育つかもしれないが、社会に役立つ人材が育つとは限らない。学生個人や家庭にゆだねると格差が生じかねないので、公共が学習の場を提供することが大切だと思う。

(富岡教授)

先生たちは教室で具体的に何をするかに興味がある。建築の分野としては資源を提供することになるので、それをどう使うかも考えてほし

い。時間割についても合わせて検討していったほしい。体育など着替えが必要だったりする場合は2時限連続にするなど。時間割の自由度を持たせておかないと、建物の自由度も下がる。

(田端助教)

校外授業についても時間を要するので、時間割についての工夫は検討が必要になる。

(町長)

教育長が語る教育と合わせて、中学校建築は町の教育を進める上で大事な考え方になる。用地交渉を進めているが、また一つ理論武装というか、大事なことを確認できたのではないかとと思っている。できるだけ早く子供たちのために前に進めるように努力しなければならないと改めて感じた。

(教育総務課長)

ありがとうございました。今後も三重大学の力も借りながら東員第一中学校の建設に向けて動いていきたい。

(教育総務課長)

続いて、町の教育施策の取り組みについて、課別に報告させていただく。

(教育総務課長)

※通級指導教室改修工事、教職員の勤務時間短縮に向けたタイムカードや留守番電話の導入などを説明

(学校教育課長)

※幼児教育・保育の無償化に関する制度改正、通級指導教室、少人数教室習熟度別授業、外国語教育に関する取り組みなどを説明

(社会教育課長)

※生涯学習、図書館事業、子供カレッジ事業、青少年育成や文化振興事業について説明

(教育総務課長)

3課の取り組みを説明させていただきました。質問等ありましたらお

願います。

→特になし

4 閉会

(教育委員会事務局長)

これを持ちまして、令和元年度第2回東員町総合教育会議を閉会と致します。ありがとうございました。